

総務大臣 松本 剛明 殿

岩見沢市長 松野 哲

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日：令和2年1月22日
- (2) サービス開始日：令和2年3月1日

2. 目標達成状況

指 標	目 標 (目標年度)	実績値			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域 BWA サービス加入世帯数	498世帯	11	47	52	52
5G の技術検証が可能な環境整備により連携を図る大学・農機メーカー等の実証に関する取り組み件数	実証数 3種類	0	5	5	2
	実証に関する取り組み件数 10回/年	0	16	7	24
地域 BWA 基地局開設数	10箇所 (うち、補助対象関連基地局5箇所)	10箇所 (うち、補助対象関連基地局5箇所)			
5G 基地局開設数	1箇所 (うち、補助対象関連基地局1箇所)	1箇所 (うち、補助対象関連基地局1箇所)			

※欄が不足する場合は適宜追加

### 3. 目標達成に向けて実施した取組

#### 【地域 BWA サービス加入世帯数】

- ・R2 年 2 月 市広報、オフィシャルサイトによるサービス開始の周知
- ・R2 年 2 月 地域 BWA サービス説明会の開催（2 月 21 日）  
※その他、2 月 24 日、2 月 27 日にも説明会を予定していたが、厚生労働省からの「イベントの開催に関する国民の皆様へのメッセージ」の発出や新型コロナウイルスの感染者数が増加している状況を踏まえ開催を中止
- ・R2 年 11 月 新規加入キャンペーンの実施
- ・R2 年 12 月 サービス提供事業者によるサポートデスク開設
- ・R3 年 1 月 屋内用ルーター導入（ユーザー初期時工事費負担の低減）
- ・R4 年 1 月 オプション SIM キャンペーンの実施及び利活用事例の周知
- ・R4 年 8 月 カーキットルーターの取扱及び販促キャンペーン
- ・R4 年 11 月 アンケート実施
- ・R5 年 3 月 利活用セミナーの開催

#### 【5G を活用した実証・取り組み件数】

- ・総務省「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」
- ・農林水産省「スマート農業実証プロジェクト（ローカル 5G）」
- ・内閣府「未来技術社会実装事業」
- ・最先端の農業ロボット技術と情報通信技術の活用による世界トップレベルのスマート農業およびサステイナブルなスマートアグリシティの実現に向けた共同検討に関する産官学協定

#### 【地域 BWA 基地局開設数】

- ・令和元年度（令和 2 年 2 月 10 箇所開設（うち、補助対象関連基地局 5 箇所）
  - ①BWA 基地局岩見沢 1
  - ②BWA 基地局岩見沢 2
  - ③BWA 基地局岩見沢 3
  - ④BWA 基地局岩見沢 4（基地局までの伝送路整備について補助金活用）
  - ⑤BWA 基地局北村 4
  - ⑥BWA 基地局北村 5
  - ⑦BWA 基地局北村 6（基地局までの伝送路整備について補助金活用）
  - ⑧BWA 基地局北村 7（基地局までの伝送路整備について補助金活用）
  - ⑨BWA 基地局北村 8（基地局までの伝送路整備について補助金活用）
  - ⑩BWA 基地局北村 9（基地局までの伝送路整備について補助金活用）

#### 【5G 基地局開設数】

- ・令和元年度（令和 2 年 3 月 1 箇所開設（うち、補助対象関連基地局 1 箇所）
  - ①5G 基地局（株式会社 NTT ドコモ北海道支社）

#### 4. 評価

##### 【地域 BWA サービス加入世帯数】

・FWA サービスの利用者については、概ね BWA サービスへ移行が完了した。地域 BWA サービスについては、周知・販促活動等を継続して実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大により、各地域での説明会が実施できなかったことなどの要因もあり、目標達成には至っていない。また、令和 5 年度中に FTTH 未整備エリアの全域整備が東日本電信電話株式会社により実施される見通しでもあることなど、目標達成は困難な状況である。

##### 【5G を活用した実証・取り組み件数】

・主に国事業を活用しながら、スマート農業を中心とした実証に積極的に取り組み、概ね目標を達成した。引き続き本事業により構築した 5G をはじめとする情報通信基盤活用のもと取り組みを推進していく。

##### 【地域 BWA 基地局開設数】

・無線基地局開設計画に記載しているとおり、令和 2 年 2 月に 10 箇所開設した。

##### 【5G 基地局開設数】

・無線基地局開設計画に記載しているとおり、1 箇所開設した。開設時期については、工事引渡後に株式会社 NTT ドコモ北海道支社と IRU 契約を締結したことから、令和 2 年 3 月に開設した。

#### 5. 課題への対応策

・地域 BWA サービスは FTTH 未整備エリアにおける家庭向けインターネット接続サービスによるデジタル・デバイドの解消や無線通信の特性を活かしたスマート農業等での屋外利用を想定しているが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした新たな日常の推進により、FTTH 整備エリア拡大により地域 BWA の家庭向けインターネット接続サービス利用者数は減少傾向にならざるを得ないと思われる。今後は屋外利用を軸にスマート農業を中心とした各分野での利活用や家庭向けで設定しているサービス価格の見直しをはじめ、データ通信量を使い放題（他の民間サービスで設けられているようなデータ通信量超過による通信速度制御を設定していない）というサービスの強みなどを活かし、具体的なユースケースの周知・啓発によりユーザー獲得の取り組みを継続していく。